



古中だより「坂道」

くめざす生徒像>

- (知) 自ら学ぶ生徒
- (徳) 礼儀正しく思いやりのある生徒
- (体) 心身ともに健康な生徒

令和7年度 第36号

11月 6日 発行

古殿町立古殿中学校
校長 大高 文雄

町園・小・中連携教育協議会「授業研究会」



31日(金)の午後は、本校を会場に町園・小・中連携教育協議会の「授業研究会」が行われ、渡邊宏文教育長様をはじめ、町内から多くの先生方が参加しました。

1年1組の国語の授業を行いました。子ども達は、小学校の先生方と久しぶりに会えるたので、笑顔が多く見られました。その甲斐もあり、授業にはみんな一生懸命に取り組み、授業後の研究協議の中でも話題に上がりました。

園・小・中の先生が集まる機会はそう多くないので、今後も連携を深め、古殿の子ども達の健やかな成長を目指していきたいです。

「漢字コンテスト」終わる

4日(火)の午後は、基礎学力コンテストの第2弾、「漢字コンテスト」を行いました。あらかじめ学年の発達段階に応じて出題範囲を配付し、2週間の間、国語科や学年の計画に応じて取り組みました。

「やればできる」「できるを増やす」をモットーに漢字の読み・書きの練習に励みました。多くの生徒が合格していると良いな、と結果を楽しみにしているところです。

また、明日の放課後は、検定料を町が全額負担して実施する「漢字検定」が行われます。中学校卒業時の合格級の目標は「3級」です。3年間で5級→4級→3級と無理なく取得できる目標ですので、計画的な資格取得を図ってほしいと思います。中には、より高い目標を掲げ、「2級」や「準2級」にチャレンジする生徒も複数名見られ、感心するばかりです。

「第10回古殿町少年の主張大会」



1日(土)は、やぶさめアリーナにおいて、例年実施されている「少年の主張」が行われ、本校からは4名の代表生徒が参加しました。自分の体験を通して、日頃感じていることや考えていること、思っていることなどを、堂々と主張し、聴衆に訴えました。初めて聴く人にとっては、今の中学生は、こんなことを感じたり、考えたりしていて驚いたかもしれません。毎日接している我々でも、普

段の会話にはない話の内容なので、驚きとともに関心させられます。このような機会は、あまりないので良い経験になったと思います。大人になっても、この気持ちを忘れないでいてくれたら嬉しいです。

アリーナでは、本校生徒の美術作品や書写なども展示され、たくさんの力作に来場者の方々の目の保養になったと思います。ちなみに、文化祭で制作されたビッグアートは町役場にも展示されるそうです。



ソフト部「県新人ベスト8」



同じく1日(土)は、いわき市において、ソフトボール部の新人戦県大会が行われました。東北中、玉川中との県南3チーム合同による出場でした。

平日は各校で練習し、集まれる週末は合同で練習してきました。その練習の成果が発揮され、1回戦は信天中(県北)との接戦を制し、2回戦へとコマを進めました。2回戦(郡山のクラブチーム)は敗れてしまいましたが、最後まで粘り強く戦いました。

人数不足で思うような練習もできない現状を考えれば、本校生徒がホームランを打つなど、勝利に貢献し、よく頑張っていますと感じます。この冬場も根気よく練習に励み、来年6月の中体連まで力を蓄えてほしいです。